



12/ 3

川床中学校強歩大会

(日)

伝統の 36^き□ に挑戦

12月3日、川床中学校（西元ひとみ校長・46人）で長島一周強歩大会が開催されました。

この日は、全校生徒が起伏の激しい長島路 36^き□ コースに挑戦しました。スタート直後は、元気に歩いていた生徒も終盤は疲労が溜まった様子でしたが、お互いに励まし合いながら笑顔でゴールを目指しました。

3年生の水口仁悠^{ひとき}さんは「1・2年生の時は途中リタイアをしたが、初めてゴールできてうれしかった。よい成功体験になった」と達成の喜びを噛み締めながら話しました。

笑顔でゴールを目指す生徒ら



12/ 5

人権教室・手話体験学習

(火)

手話を使ってコミュニケーション

出水地区聴覚障害者協会から聴覚に障がいを持つ牧実夫さん（牧）と手話サークルまなづるのメンバーを講師に招き、障がいについての講話と手話の体験学習が、蔵之元、川床、鷹巣の3小学校でありました。

12月5日の川床小（黒川周一校長・105人）では、3・4年生43人を対象に同校出身者の牧さんの生い立ちや緊急時に困ることなどの講話が手話で行われ、通訳を通して児童に伝えられました。

3年生の林幸穂^{ゆきほ}さんは「手話を勉強したくなった。

手話の犬とウサギの違いについて学ぶ児童ら



手話でコミュニケーションができるようになりたい」と振り返りました。

緊急時や避難所でのアナウンスは、音で伝えることが多いため、聴覚障がい者は対応が遅れることがあり、周囲の人の助けが大切になります。

12/ 6

100歳のお祝い

(水)

感謝の気持ちでいっぱい

12月6日、田淵文江さん（本町）が100歳の誕生日を迎え、100歳を記念して川添町長からお祝いの品と賞状が手渡されました。

田淵さんは、25歳の時に天草から長島へ嫁ぎ、以来75年を本町で過ごしました。当時は戦後で皆が苦労した時代だったが楽しかったと振り返りました。

100歳を迎えて「皆さんにお世話をいただいて感謝の気持ちでいっぱい。健康を維持して元気に過ごしたい」と話しました。

川添町長から賞状を受け取る田淵さん



12/ 7

鷹巣小学校と幼稚園交流教室

(木)

幼稚園児をおもてなし

12月7日、鷹巣小学校（田畠正英校長・195人）で、児童にはやさしさや思いやりの気持ちを、園児には入学しやすい環境を整えることを主な目的として、1年生が鷹巣幼稚園の園児をもてなす交流教室が行われました。

この日のために児童34人は約1カ月前から秋のおもちゃの準備を始めました。当日は、マツボックリのけん玉やドングリを使ったこまやマラカスなどのおもちゃでレクリエーションを通してふれあい、園児12人をもてなしました。

マツボックリのけん玉でおもてなし



鷹巣小の児玉優さんは「幼稚園児と遊んで楽しかった。秋のおもちゃは幼稚園生が喜ぶ姿を想像して作った」と交流を楽しんだ様子でした。